

令和8年度用

改訂新版

数学の新研究

熊本県 高校入試情報

令和7年度熊本県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は6問、小問数は29問で、ほぼ例年どおり。
- 大問1は計算の小問集合、大問2は作図を含む各領域の小問集合、大問3はデータの活用と箱ひげ図、大問4は三平方の定理と空間図形の総合問題、大問5は関数、大問6は証明を含む平面図形の総合問題。
- 学校選択問題AとBに分かれていて、Bの方が難易度は高い。
- 大問3はヒストグラムと箱ひげ図を比べて、対応していない理由を書く問題もあった。データを正しく読みとり、説明する練習をしておきたい。
- 大問1と2で配点が5割を超えるので、過去問でしっかり対策しよう。

★熊本県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ データを読みとる問題の出題

・度数分布表やヒストグラム、箱ひげ図などのデータを読みとって答える問題がよく出題されている。データの傾向をとらえられるよう練習しておく必要がある。

新研究で対策！

- 「数値を示そう！データを読みとって説明する問題」(p. 172～173), 「思考力・判断力・表現力を問う活用問題」(p. 188～191)で、複数のデータを読みとる問題に取り組むことができます。

■ 証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

新研究で対策！

- 「ウォームアップ特集 合同の証明」(p. 82～83), 「フォロー特集 マチガイから学ぶ！答案の書き方のコツ～図形の証明～」(p. 96～97)で、証明のポイントや、証明の書き方のコツを詳しく解説しています。
また、「共通部分を見つけよう！合同と相似の証明」(p. 182～183)で、集中強化できます。

空間図形の応用問題がよく出題されるので、図形の総合問題をしっかり解いておきましょう。



★熊本県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容	●	●	●	●
	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式			●	●
	方程式	●	●	●	●
	比例と反比例		●		
	平面図形	●	●	●	●
	空間図形	●	●	●	●
	データの分析と活用	●	●	●	●
	2年内容	●	●	●	●
	式の計算	●	●	●	●
	連立方程式				
	1次関数	●	●	●	●
	図形の調べ方				
	三角形	●	●		●
	平行四辺形	●			●
	確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図	●	●	●	●
	3年内容	●	●	●	●
	式の計算	●	●	●	●
	平方根	●	●	●	●
	2次方程式	●	●	●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な図形	●	●	●	●
	円の性質	●	●	●	●
	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査				
出題形式別の傾向	大問数	6	6	6	6
	小問数	29	30	30	29
	記述問題				
	図形の証明(説明)	1	1	1	1
	その他の説明・証明など	1		1	1
	立式・解法の過程の記述				
	作図(図形)	1	1	1	1
	作図(グラフ)	1			

★新研究で出題した熊本県の入試問題(令和7年度)

p.19大問7,p.23大問1(1),p.57大問4(2),p.91大問5(2),p.115大問1(1),p.188大問1